

少林寺拳法練成大会で交流しました

7月17・18日の2日間、岩手県少林寺拳法連盟による、平成23年度の岩手県青少年少林寺拳法錬成大会が岩手県営武道館にて行われました。今年度のテーマは「キズナ～少林寺拳法がつなぐ拳士の輪～」とし、東日本大震災で被災した今、少林寺拳法を通じて、お互いを認め合い、励まし合うことが、未来への原動力(糧)になると考えました。そして、大きな被害を受けた岩手釜石支部・岩手大船渡支部・岩手高田支部の沿岸3支部の拳士たちを、皆さんから集めた募金などとともに、盛岡に招持し、錬成大会の宿泊所のテニスパーク(岩手山青少年交流の家)でのレクリエーションなどで共に交流を行おうと企画しました。講師として三重県から中山文夫先生、愛知県から佐竹令子先生が来られ、少年部の拳士達に楽しく指導をしていただきました。中山先生のおもしろい基本修練や佐竹先生のアルゴリズム体操の音楽に合わせての天地拳などいろいろな指導法が学べて良かったです。新聞紙を剣にしての攻撃に対する防御の練習や、紙芝居なども子供達に大好評だったようです。修練の空き時間には、子供たちや岩手の学生たちが一緒に鬼ごっこをしたりと、楽しく交流しました。また、少林寺から来たでは工藤綾菜拳士が見事優勝しました。そして何れも宗由貴総裁が2日間参加され、講話や交流の機会がもてたことに皆が感激していました。一緒に撮った写真、いい記念ですね! テニスパークでのレクのキャノンパイパーは佐々木海羽拳士と細野万桜拳士が家族で参加して楽しみました。参加者しかわからない「火の神」にも会えましたしね。沿岸の子たちの笑顔が印象に残るとても良い錬成大会となりました。参加したみなさんお疲れ様でした。これからもさらに「キズナ」を深めていきましょう!



私
が
変
わ
れ
ま
し
た
か
ら
!

人
は
変
わ
れ
る
ん
で
す。

岡部先生が足をケガ!

7月8日(金)は中部道院の修練はお休みでした。それは、岡部先生が道院長研修で北海道へ出張していたからです。



しかし、そこで事件が起きました! 岡部先生が研修中に右足のアキレス腱を切る大ケガをしたのです。今、先生は、ギプスをして、車イスや松葉杖で移動をしています。しかし、17・18日の錬成大会では車イスで熱血指導をして、他の先生を上回る活躍でした! 早く回復されますように...

7月度の昇級

7月3日(日)、盛岡市立武道館にて合同練習の後に昇級試験が行われ、盛岡中部道院では4名が合格、昇級致しました。おめでとう! 小学校卒業までに、目指せ黒帯!!

- 少年部一級 山崎 颯太、中野和真
- 少年部二級 一井 元太、佐々木海羽